

二〇二二年度 健和看護学院 国語入試問題

(その一)

◆◆◆ 解答は、すべて解答用紙に書くこと。 ◆◆◆

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ゲーム会社やスマホメーカー以外にも、不確かな結果への偏愛を巧みに利用している企業がある。それはソーシャルメディア、SNSだ。フェイスブック、インスタグラムやスナップチャットがスマホを手にとらせ、何か大事な更新がないか、「いいね」がついていないか確かめたいという欲求を起こさせる。

Ⅰ「報酬システムがいちばん強く煽られている最中に、デジタルな承認欲求を満たしてくれるのだ。あなたの休暇の写真に「いいね」がつくのは、実は、誰かが「親指を立てたマーク」を押した瞬間ではないのだ。フェイスブックやインスタグラムは、親指マークやハートマークがつくのを保留することがある。そうやって、私たちの報酬系が最高潮にa**煽られる瞬間**を待つのだ。刺激をすこしずつ分散することで、デジタルなごほうびへの期待値を最大限にもできる。

SNSの開発者は、人間の報酬システムを詳しく研究し、脳が不確かな結果を偏愛していることや、どのくらいのb**ヒンド**が効果的なのかを、ちゃんとわかっている。時間を問わずスマホを手にとりたくなるような、驚きの瞬間を創造する知識も持っている。『いいね』が1個ついたかも？見てみよう』と思うのは、「ボーカーをもつ1ゲームだけ、次こそは勝てるはず」と同じメカニズムなのだ。

①このような企業の多くは、②行動科学や脳科学の専門家をc**ヤト**っている。そのアプリが極力効果的に脳の報酬システムを直撃し、最大限の依存性を実現するためにだ。金儲けという意味でいえば、私たちの脳のハッキングに成功したのは間違いない。

きわめてテクノロジに精通している人ほど、その魅力が度を過ぎていることを認識し、制限した方がいいと考えているようだ。

③ジャスティン・ローゼンスタインという30代のアメリカ人は、自分のフェイスブックの利用時間を制限することに決め、スナップチャットのほうはずっぱりやめた。依存性ではヘロインにd**ヒツテ**キするからと言って。スマホの利用にブレーキをかけるために、本来は保護者が子供のスマホ使用を制限するためのアプリまでインストールした。

ローゼンスタインの行為が興味深いのは、彼こそがフェイスブックの「いいね」機能を開発した人物だからだ。

Ⅱ「『立てた親指』の立役者は、自分の創造物が度を過ぎて魅力的だと感じているのだ。あるインタビューでは、後悔したようにこう発言している。「製品を開発するときに最善を尽くすのは当然のこと。それが思ってもみないような悪影響を与える——それに気づいたのは後になってからだ」 (中略)

IT企業のトップは、自分たちが開発した製品に複雑な感情を抱いている。その最たるものが、アップル社の創業者スティーブ・ジョブズのエピソードだ。ジョブズは、2010年初頭にサンフランシスコで開かれた製品発表会でipadを初めて紹介し、聴衆をe**ミ**リョウした。「インターネットへのアクセスという特別な可能性をもたらす、驚くべき、比類なき存在」と、ipadに最大級の賛辞を浴びせた。

ただし、④自分の子供の使用には慎重になっている——ことまでは言わなかった。あまりに依存性が高いことは気づいていたのに。ニューヨーク・タイムズ紙の記者が、あるインタビューでジョブズにこう尋ねている。「自宅の壁は、スクリーンやipadで埋め尽くされてるんでしょう？ディナーに訪れたゲストには、お菓子の代わりに、ipadを配るんですか？」それに対するジョブズの答えは「ipadは**そばに置くことすらしない**」、そしてスクリーンタイムを厳しく制限していると話した。仰天した記者は、ジョブズをローテクな親だと決めつけた。

テクノロジが私たちにどんな影響を与えるのか、スティーブ・ジョブズほどの確に見抜いていた人は少ない。たった10年の間に、ジョブズはいくつもの製品を市場に投入し、私たちが映画や音楽、新聞記事消費する方法を変貌させた。コミュニケーションの手段については言うまでもない。

Ⅲ 自分の子供の使用には慎重になっていたという事実は、研究結果や新聞のコラムよりも多くを語っている。

(『スマホ脳』アンデシュ・ハンセン 久山葉子(訳))

問一 二重傍線部a eのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 空欄ⅠⅡⅢにあてはまる適当な言葉の後のアウオから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア それなのに イ また ウ それより エ そのうえ オ つまり

問三 傍線部①に該当するものを本文から三つ抜き出してすべて答えなさい。

問四 傍線部②のはなぜか。本文中の語句を用いて答えなさい。

問五 傍線部③について

(1) 「立役者」の意味を答えなさい。

(2) この人物のエピソードで筆者が伝えようとしていることはどのようなことか。簡潔に答えなさい。

問六 傍線部④のはなぜか。次の説明文の空欄に入る語句を本文中から抜き出して答えなさい。

スティーブ・ジョブズが、自社の製品の A (6字) ことに気づき、

B (25字以内)

的確に見抜いていたから。

二 次の空欄に適切な漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

(その二)

1	曖昧	糊
2	興味	々
3	山	水
	明	

三 次の1～3の慣用句・ことわざ・故事の()にあてはまる適当な言葉を漢字一字で答えなさい。

- 1 ()に腹は代えられぬ
- 2 怒()天を衝く
- 3 匹夫の()

四 次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

- ① 精読
- ② 強硬
- ③ 隆起

(語群) イドウ コウカ ナンジャク オンドク ジシン ツウドク モクドク チンカ

五 傍線部の例文における意味として最も適当なものを、①～⑤のうちから選び記号で答えなさい。

- 1 隣の席の女が訝しげに俺をみたが、ここで引き返すわけにはいかない。

- ① 疑うようなまなざしで
- ② 不審に思う様子をして
- ③ 心配そうな表情をして
- ④ 自信なさそうな様子で
- ⑤ 驚くようなしぐさをして

- 2 模試の結果がかんばしくないことはその表情からすぐにわかった。

- ① 聞く気にならない
- ② 尊敬できない
- ③ 聞いたことのない
- ④ 好ましくない
- ⑤ 聞き捨てならない

- 3 つかぬことをお伺いしますが、と小さな声がして僕は顔を上げた。

- ① だしぬけなこと
- ② おかしなこと
- ③ 人聞きの悪いこと
- ④ 意地悪いこと
- ⑤ いいかげんなこと

六 次の冒頭文を読んで後の問いに答えなさい。

- A ゆく川の流れは絶えずしてしかもとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまりたるためしなし。

- B 木曽路はすべて山の中である。あるところは岨(ソバ)づたいに行く崖の道であり、あるところは数十間の深さに臨む木曽川の岸であり、あるところは山の尾をめぐる谷の入り口である。一筋の街道はこの深い森林地帯を貫いていた。

- 1 Aの作品名を答えなさい。
- 2 Bの作品名と作者名を答えなさい。